

# 岡山市政ニュース 速報版

2021年3月16日 日本共産党 岡山市議団 NO. 262  
岡山市北区大供1-1-1 086-803-1707

2月議会閉会

## 「選択的夫婦別姓に反対」陳情は不採択

2月定例議会は15日、108件の議案を可決・同意し、4件の陳情を採択して閉会しました。党市議団は、予算では、路面電車駅前乗入、斎場、苦田ダムなどの税金の無駄遣いや、有料ゴミ袋、自衛官募集など、条例では介護保険料値上げや介護・保育の規制緩和、市立幼稚園廃止などの22件に反対しました。陳情では、コロナ禍で市立園の廃止民営化を一時停止、学校給食は単独自校調理を基本とするなどの陳情の採択を求めました。

選択的夫婦別姓制度に反対する陳情は、不採択でした。<裏面Topic①>



閉会日に討論に立つ各市議  
(左から)竹永みつえ、東つよし、林じゅん

## 「大型事業は得意でも福祉には関心なし?」「その政策いつどこで決まったの?」

今議会は、大森市政の2期目最後の当初予算編成です。国交省局長から市長に転身して8年、路面電車や再開発、ハコモノなどの大型事業は次々進行する一方、市の借金は増えてきました。

市民生活から見ると、コロナ対策ではPCR検査の対象拡大には消極的、生活困窮の市民や中小事業者への支援も限定的です。120以上あった市立幼稚園・保育園の統廃合や民営化はほとんど強行されています。子ども医療費助成は小学生が1割負担に軽減されたものの県下で最低、政令市でも下位の水準です。暮らし応援や福祉の充実に冷たい姿勢がはっきりしてきました。

自衛隊への個人情報提供<裏面Topic③>、都市公園の占用許可<裏面Topic④>、など、大森市長のトップダウン、独断専行の姿勢も次第に明らかになってきました。

また、大森市長のもとで、市立園の統廃合や学校給食のセンター化、路面電車やLRT化、斎場や産廃の問題など地域住民が不安や懸念を抱いている問題でも、住民の声を聞かずに当局のやりたいことばかりどんどん進めることが増えています。このままでよいのでしょうか。

今年9月には市長選挙があります。「市民の税金は市民の命と暮らし最優先に」の願いを実現できる市長を誕生させましょう。

当面の議会日程(予定)

●5月臨時=5/13(木)~14(金) 議長選や委員会改選など

●6月定例=6/7(月)~6/23(水)

6/4(金)

7(月)

11(金)~17(木)

18(金)

23(水)

事前常任委員会

開会

個人質問

常任委員会

閉会

請願陳情

6/10 締切

今年は勝負の年!

(2021年に任期満了)

●岡山市長

10月8日

●衆議院議員

10月21日

## <Topic①> 市議会は良識示す ～選択的夫婦別姓の陳情

「選択的夫婦別姓の法制化に反対する意見書の提出」を求める陳情は、自民系の17人が賛成、それ以外23人が反対で、不採択でした。自民党市議団から3人が棄権。2人欠席でした。

## <Topic②> 市長の専決範囲を広げる議員提案 ～議会の役割を自ら狭めるのか

市長が議会に諮らずに決めて執行できる契約金額の範囲を最大15倍に引き上げる議案を、自民・公明・創政などの議員が提案し、可決されました。工事などの契約変更で議会での審議・議決が必要になる線引きは、これまでの2000万円から元契約額の1割・最大3億円に引き上げられました。行政をチェックする議会の役割を自ら狭める重大問題です。党市議団は反対しました。

## <Topic③> 勝手に情報提供しないで ～自衛隊に宛名シール提供方針

岡山市は、2021年度に18歳と22歳になる市民の個人情報をも本人の許可なしに自衛隊に提供することにしています。住所と氏名を宛名シールの形で提供するとしており、提供を望まない人は4/13までに「除外申請書」を提出するよう広報紙とホームページで知らせています。

以前は自衛隊関係者が住民基本台帳の対象年齢者分を閲覧していましたが、市長が「提供する」と昨年2月議会で突然表明してから、市の姿勢が変わりました。

今議会で党市議団などが「自衛隊への提供は義務か」と繰り返したましたが、市は最後まで答えられず、義務でないことがはっきりしました。提供しない自治体も全国にはあります。

「本人の許可なく勝手に情報提供しないで」の声を広げ、市の姿勢を変えさせましょう。

「除外申請書」の問合せは、市民生活局区政推進課（電話086-803-1032）です。

## <Topic④> 都市公園の独占的使用 ～公表は許可後、手続や料金ルールも後から

都市公園の一部を民間団体が占有（独占的に使用）できるようにするための条例改定が提案され、党市議団以外の賛成で成立しました。

一般社団法人が下石井公園の一部に障害者施設を建てるという内容を、市長が2月10日に記者発表しました。これは条例改定どころか改定案の提案さえまだされていない段階です。そしてその翌日には、下石井公園の一部で工事が開始され、幸町図書館の東側にあったステージなどの構造物は既になくなりました。市は、2017年に法律が変わった後の2020年1月頃に事業者から申し出があったので、協議して占有を許可したと説明しました。

しかし、先に許可を出し、後から料金や手続のルールをつくるのは、行政のやり方として順番が逆です。決定過程全体の不透明さも問題で、市長会見の時まで市民にも議会にも何の説明もなく、どこでどう決まったのか、疑問と不信感はぬぐえません。

<賛否の分かれた主な議案・陳情>		結果	共	自	公	隆	創	ネ	熊	森	小
議案	当初予算	○	×	○	○	○	○	○★	○	○	○
	介護保険料値上げ（予算と条例）	○	×	○	○	○	○	△	○	○	○
	介護の規制緩和（9件）	○	×	○	○	○	○	△	○	○	○
	保育の規制緩和（2件）、市立幼稚園廃止	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	都市公園の占有の手続きを規定	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	市長の専決処分の範囲拡大	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○
陳情	選択的夫婦別姓に反対	×	×	○★	×	○	×	×	×	×	○
	コロナ禍で市立園の民営化等を一時停止	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×
	学校給食は単独自校方式を基本に	×	○	×	×	×	×	△	×	×	×

共=共産党 自=自民市議団 公=公明党 隆=自民政隆会 創=おかやま創政会 ネ=市民ネット 熊=熊代昭彦 森=森山幸治 小=小川信幸  
 △…会派内で賛否が分かれた ★…会派内で一部が棄権 欠席2名…宮武博（自民政隆会）、寺林綾乃（1人会派） 敬称略